



オーン諸島

2013年更新

南緯64度40分 西経62度40分

主な特徴

- ・ジェルラシ海峡、エレラ海峡及びキヴェヴィル島の顕著な眺望。
- ・ヒゲペンギン及びジェンツーペンギンのコロニー

概要

地形：

エレラ海峡入り口にあるロンジェ島近くの低平な小さな島一群。オーン諸島の一番大きな島は、中程度の傾斜のドーム状の岩で高さ75mである。中心の尾根は岩石が多く、万年雪で盛り上がっている。諸島には、他に3つの小島が含まれている。

動物相：

繁殖が確認されている種：ジェンツーペンギン (*Pygoscelis papua*)、ヒゲペンギン (*Pygoscelis antarctica*)、サヤハシチドリ (*Chionis alba*)、オトウゾクカモメ (*Catharacta* spp.)、ミナミオオセグロカモメ (*Larus dominicanus*)及びナンキョクアジサシ (*Sterna vittata*)。

ナンキョクオットセイ (*Arctocephalus gazella*) がシーズンの終盤に定期的の上陸する。ウェッデルアザラシ (*Leptonychotes weddellii*) 及びヒョウアザラシ (*Hydrurga leptonyx*) が海岸近くで見ることができる。ザトウクジラ (*Megaptera novaeangliae*) が沖合で見ることができる。

植物相：

コケ類；地衣類オオロウソクゴケ類 (*Xanthoria* spp.)、スミイボゴケ類 (*Buellia* spp.)、ダイダイゴケ類 (*Caloplaca* spp.) 及びウスネア類 (*Usnea* spp.) を含む芒を持つ固着性の地衣類種が露出した岩場で生育している。

訪問者の影響

既知の影響：

なし。

潜在的影響：

野生生物のかく乱及び植生の踏みつけ。

上陸要件

船舶*：

乗客500人以下の船舶。一度に1隻の船舶。1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）乗客200人を超える船舶は3隻以内。

訪問者：

探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100人以内。訪問者20人あたりガイド1人。

* ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



訪問者用地区

上陸地区：

北端からおよそ250mにある島の北西側の低い平坦な岩場。他の島々は、小型ボートでのクルーズが適している。

ガイド付き徒歩地区：

なし。

自由散策地区：

訪問者は、自由散策できる。

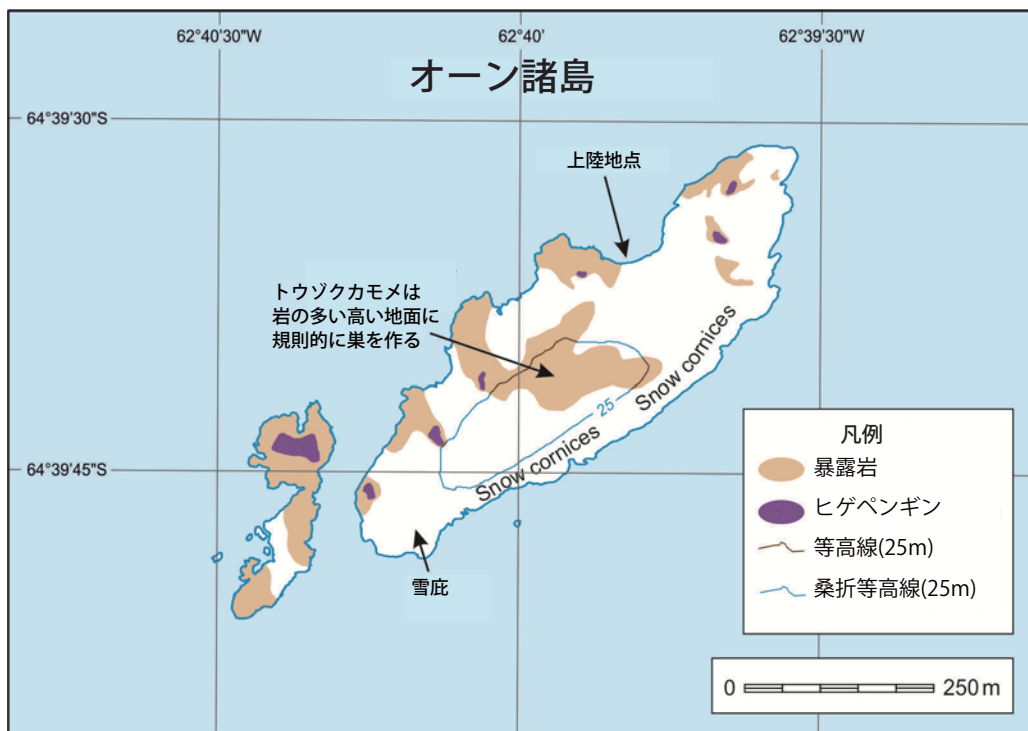
訪問者の行動規範

上陸後の行動：

訪問者は、「南極への訪問者のための手引き」に従って行動する。オオトウゾクカモメが、露出した岩場で営巣している。それらの存在に注意し、行動を監視し、必要ならば距離をよりとること。露出した岩場上に生息するコケ及び地衣類の小さなパッチの踏みつけを回避すること。

注意事項：

潮の状態により、海岸沿いには危険な岩場が現れることがある。島端の雪の崖はしばしば蛇腹状で安定していないことに留意する。それらは一見してわかりにくいことがある。



ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



南西を見た際に右手側の岩場が好適な上陸エリア

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



島の北東に向かって小さなチンストラップコロニーの光景

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



島には岩の露頭上にいくつかのヒゲペンギンのコロニーがある